

■はじめに	10
[第1章] 平安時代 1	12
■中国文化の摂取と平安の茶興	12
平安京 13	
遣唐使と中国文化の摂取 13	
嵯峨天皇 15	
唐様の摂取 15 / 漢詩集の勅撰 16	
鎮護国家と季御読経 18	
大内裏の茶園 18 / 四季御読経と引茶 19	
[第2章] 平安時代 2	21
■平氏政権と日宋貿易	21
国風文化 22	
摂関政治と武士の登場 23	
宋との貿易 25	
平清盛と貿易港 25 / 宋商人の活動 27 / 博多出土の天目 28	
[第3章] 鎌倉時代 1	29
■禅宗の隆興	29
鎌倉幕府 30	
源実朝と藤原定家 30 / 宋文化への憧れ 32	
鎌倉の出土品 32	
禅宗の盛行と渡来僧 33	
建長寺と蘭溪道隆 34 / 円覚寺と無学祖元 35	
文永・弘安の役(元寇) 36	
[第4章] 鎌倉時代 2	38
■鎌倉幕府の崩壊、南北朝の騒乱	38
元寇後の混乱と金沢貞顕 39	
貞顕と金沢文庫 39 / 称名寺と茶 40	
盛んになる貿易と唐物 41	
社寺造営料船の派遣 41 / 円覚寺仏日庵の唐物 43	
鎌倉幕府滅亡と南北朝の内乱 44	
社会風刺と下剋上 45	
二条河原落書 45 / バサラ 46	

[第5章] 室町時代 1	47
■南北朝の統一と北山文化	47
室町幕府と南北朝 48	
足利義満 49	
義満と遣明船 49 / 北山第 50	
五山文学の醸成 51	
足利義持と勘合貿易 53	
会所と同朋衆 54	
[第6章] 室町時代 2	56
■応仁の乱と東山文化	56
室町幕府の衰退と応仁の乱 57	
新たな文化の形成 58	
東山文化 58 / 東山御物 60 / 幕府の弱体化と御物の散逸 61	
貿易港の堺・博多 63	
大徳寺と堺と茶 64	
[第7章] 織豊政権期 1	65
■織田信長と名物茶器	65
応仁の乱後の混乱 66	
博多商人と遣明船 66	
室町幕府の滅亡と織田信長 68	
信長と茶の湯 69	
名物茶道具の収集 69 / 信長の茶会と堺商人 70 /	
蘭奢待の切り取り 71 / 相国寺茶会 72	
[第8章] 織豊政権期 2	73
■政治と茶の湯と	73
堺衆の台頭 74	
桃山美術一洛中洛外図屏風 74	
政権と結びつく茶の湯 76	
茶道具の収集と下賜 76 / 家督と茶道具の譲渡 77 / 曲直瀬道三の手紙 78	
本能寺の変 79	
信長政権と茶の湯 80	
[第9章] 織豊政権期 3	81
■天下の統一	81

豊臣秀吉による全国統一 82  
太閤検地と黄金文化 83  
天下人・秀吉と茶の湯 84  
大坂城 84 / 大徳寺大茶湯 85 / 公家社会に広がる茶の湯 85  
千利休(宗易) 87  
聚楽第の造営 87

[第10章] 織豊政権期 4 .....89

■秀吉の対外政策と南蛮文化 .....89  
身分の統制 90  
北野大茶湯 90  
天下平定の完成 91  
ポルトガル船とキリスト教 92  
都の改造 93  
朝鮮半島への侵出 94  
文禄・慶長の役 94 / 朝鮮陶工と新たな焼物 95

[第11章] 江戸時代1 .....97

■江戸時代の幕開け .....97  
江戸幕府の成立 98  
家康と東南アジア貿易 99  
朱印船貿易 100 / 特権商人たちと茶の湯 102  
数寄屋御成の成立 103  
織田有楽と御成 103 / 古田織部と織部焼 104

[第12章] 江戸時代2 .....105

■鎖国下の貿易と海外の焼物 .....105  
幕藩体制の整備 106  
島原の乱と鎖国 107  
海外貿易と焼物 109  
オランダ陶磁の流入 109 / 朝鮮半島と対馬 110  
西国支配と小堀遠州 111

[第13章] 江戸時代3 .....113

■寛永期の朝廷と文化人 .....113  
朝廷と寺社 114  
東福門院の入内 114 / 紫衣事件 115  
後水尾院と宮廷文化 115

寛永文化 116  
離宮ブームの時代 118  
八条宮家と桂離宮 118 / 一条昭良と西賀茂山荘(恵観山荘) 119 /  
後水尾院と修学院離宮 120  
公家と茶の湯 120  
千宗旦と公家の交流 120 / 金森宗和と仁清 121

[第14章] 江戸時代4 .....122

■文治主義と経済発展 .....122  
文治主義への転換 123  
耕地の増大 124  
新田開発 124 / 新航路の開拓 125 / 寛文・延宝の検地 126 / 寺檀制度 126  
御茶壺行列 127  
禁裏と公家の茶の湯 128  
後西院と口切 128 / 公家文化の再生 129

[第15章] 江戸時代5 .....130

■儒者と藩主と .....130  
朱子学重用と林家 131  
藩主による学問奨励 132  
岡山藩一池田光政 132 / 水戸藩一徳川光圀 133 / 加賀藩一前田利常と綱紀 134  
片桐石州の茶の湯と諸大名 135

[第16章] 江戸時代6 .....137

■幕政安定と元禄文化 .....137  
徳川綱吉と諸政策 138  
財政赤字と貨幣の改鋳 139 / 武家諸法度の改訂 139 /  
幕府の体制と序列 140 / 生類憐みの令と服忌令 140  
元禄文化 141  
利休100回忌と茶書の出版 142

[第17章] 江戸時代7 .....144

■新井白石の改革と京の細工人 .....144  
徳川家宣と家継 145  
正徳の治 145  
朝廷と幕府の関係修復 146  
閑院宮家の創設 146  
近衛基熙と朝幕関係の修復 147  
基熙の茶会 148

京の細工人 149  
茶道具の細工人 149 / 千家十職 150

[第18章] 江戸時代8 .....152

■享保の改革と地方大名の茶 .....152

徳川吉宗による享保の改革 153  
官僚機構の整備 153 / 地方支配体制の確立 154 / 年貢の増収 154  
吉宗と茶の湯 156  
地方大名と茶道役 157  
島津吉貴と茶会 157 / 伊達綱村と茶会記 157  
近衛家熙と公家茶道 158

[第19章] 江戸時代9 .....160

■田沼意次と松平定信 .....160

徳川家治と田沼意次 161  
蝦夷地の調査 161 / 清朝との交易拡大 161 / 銅山の開発 162 / 天明の飢饉 163  
徳川家斉と藩政再建 163  
寛政の改革 164  
松平定信と茶の湯 164  
新たな大名茶人 166  
松平不昧 166 / 柳沢堯山 167

[第20章] 江戸時代10 .....168

■天保の改革と文化の成熟 .....168

天保の飢饉 169  
水野忠邦の改革 169  
化政文化 171  
江戸の園芸ブーム 172  
江戸梅屋敷と百花園 172 / 園芸書の刊行 173  
幕末豪商の活動 174  
三井家 175 / 鴻池家 175

[第21章] 江戸時代11 .....176

■江戸時代の終焉 .....176

開国への道程 177  
徳川家定 177 / 徳川家茂と井伊直弼 177  
江戸幕府の崩壊 179  
幕末大名と茶の湯 180

田安慶頼 181 / 井伊直弼 182  
女性と茶の湯 182  
新たな茶の湯観 183

[第22章] 明治時代1 .....184

■近代国家への歩み .....184

明治維新 185  
新政府の誕生と諸政策 185 / 岩倉使節団と留守政府 186  
士族の反乱 188  
女子教育 190  
欧化政策と伝統文化の崩壊 190  
博覧会と立礼式の誕生 191

[第23章] 明治時代2 / 大正時代1 .....192

■立憲政治と近代文化 .....192

立憲国家への歩み 193  
自由民権運動の発展 193 / 憲法制定と帝国議会 193 / 不平等条約の回復 194  
日清戦争と日露戦争 195  
大正期の政党内閣 196  
近代文化の発展 197  
政財界と茶の湯—益田鈍翁 198

[第24章] 大正時代2 / 昭和時代 .....200

■激動の時代と茶道の大衆化 .....200

第一次世界大戦と戦後恐慌 201  
弾圧と統制 202  
軍部の台頭と大陸侵出 203  
満州事変 203 / 政党政治の終焉 204  
市民文化の熟成 205  
茶道の大衆化 206  
昭和北野大茶湯 207 / 利休350年忌 207

■索引 .....209

■おわりに .....226

茶道史関係参考文献 229

●本文中、年表記は原則西暦とし、( )のなかに和暦を付すが、南北朝時代、また国外での事項については西暦のみを表記した。